

背中や太ももに赤い斑ができてずっと治りません 菌状息肉症の疑いがあります

中野皮膚科クリニック

<http://www.nakano-derma.com/>

お尻や背中、太ももなど体幹部に赤茶色の斑ができません



お尻や太もも、背中に赤茶色の斑ができて、ずっと治らない…。皮膚リンパ腫の中でも多いといわれる菌状息肉症について日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

「どんな病気ですか？」
「皮膚にできる悪性のリンパ腫です。アトピーや乾癬(かんせん)に似ていて、最初は背中やお尻、太ももなどに円形の紅斑がいくつもできます。この紅斑期が数年〜10年近く続き、表面がカサカサして鱗状になっていることもあります。痛みやかゆみなどの自覚症状はないため、そのまま放っておくと、だんだん広がっていき紅斑に厚みが出ていき扁平浸潤期(へんぺいき)や腫瘍期(しゅりゅうき)へと悪化していきます」

「原因は？」
「血中のT細胞が悪性化、増殖して発症します。皮膚に症状がでますが、進行するとリンパ節やほかの臓器にも広がっていくので早めに治療することが大切です」

「治療法は？」
「広がりや進行度によっても違いますが、紅斑期はステロイドの塗り薬や患部に光をあてる紫外線療法を中心に行います。2010年以降、ヒストン脱アセチル化酵素阻害薬が保険適用になるなど、治療の選択肢も増えてきました。見た目からアトピー性皮膚炎や乾癬(かんせん)と間違われやすく、皮膚科でも皮膚生検をしてみないと確定しにくい病気です。痛みもかゆみもないので放っておきがちですが、進行すると治りにくくなります。気になる症状がある場合は、早めに医師に相談してください」

中野皮膚科クリニック
(マルニビル5階)



問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
☎03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	12:00 まで受付
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士、東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師